

## 「諏訪圏ものづくり推進機構」の活動

〈草間理事長より〉

諏訪地方 6 市町村を主とした中央自動車道沿線地域には、切削・プレス・電子・金型など、独自の微細加工技術を有した特徴ある中小企業が集積しています。これらの企業群が連携し独自の技術を発揮し合うことで、技術向上はもとより技術者養成や高い付加価値を生み出します。諏訪ものづくり推進機構は、人材育成・企業体質強化・ビジネスサポートなど、一社だけでは容易に解決できない課題に、行政・経済団体・支援機関とともに一丸となって取り組み、「東洋のスイス」から新たなるSUWAブランド構築と、諏訪地域の「ものづくりDNA」を次世代に引継ぐ活動を進めます。

### —— 講師紹介 ——

諏訪圏ものづくり推進機構理事長

草 間 三 郎 氏

(70歳 愛知県出身)

セイコーエプソン株式会社 相談役  
サイトウ・キネン・フェスティバル松本  
実行委員会委員長

諏訪圏ものづくり推進機構は、広域的・地域横断的に産業活性化を行う支援拠点です。

### ◇人材育成

古くから培われてきた諏訪の「ものづくり」の精神と技術。次世代に向けて、技術者や企業精神をもった人材の確保、教育を進めていきます。また、新しい分野や、知識を深めるための学習会も開催します。

### ◇企業体質強化

規制緩和やグローバル化により国際的な企業間競争が激化しています。企業も本気で足腰を鍛え、「ものづくり」を永続的に行うための新しい理念や知識の取得を推進します。

### ◇ビジネスサポート

経験豊富な専門アドバイザーが、営業・技術の両面から、販路開拓・拡大に向けて支援します。

### ◇情報提供

社会のニーズや市場の動向・最新技術・融資等、諏訪の「ものづくり」のための情報をwebやメールで発信します。

### 〔平成20年の 6 市町村の工業動向〕

事業所数は諏訪地域全体で増加しているが従業員数は諏訪市と富士見町が増加、他は減少しています。また、製造品出荷額などについては、諏訪市のみ増加、他は減少しており特に茅野市は減少幅が大きくなっています。

市町村別工業集積の状況は、事業所数岡谷市 1 位、従業員数及び製造品出荷額等は茅野市が 1 位となっています。富士見町は事業所数83で 5 位、従業員数4,134人で 4 位、製造品出荷額等は約 1 千億円で 4 位となっています。

### ～勉強会から～

10月には大イベント「諏訪圏工業メッセ」が開かれ、町内工業者の方々が参加することは知っていましたが、その母体となる組織のことは熟知していませんでした。諏訪の平のことというだけでなく、見識を広くもつためにも、エプソンの顧問でもある草間理事長のお話を聞いたことは大変有意義だったと思います。

(文責 織田昭雄)

## 町村議会広報研修会に参加しました

2月25・26日に東京で開催された「町村議会広報研修会」に、広報編集委員会のメンバー4名と事務局で参加しました。

初日は「わかりやすい文章表現・表記について」「読まれる広報誌の作り方～情報社会のコミュニケーション～」 「ネットPR発想で考える自治体ホームページの活用方法」と題した講義、2日目は「議会広報クリニック」として、数自治体の議会広報が診断されました。

それぞれその道のプロによる講義で、大変勉強になりました。特に「議会広報クリニック」は実際に発行された議会広報をテキストに使い、それぞれについて良いところ、修正すべきところ、陥りやすいミス、編集の考え方などを研修しました。私たちが編集している「富士見町議会だより」、まんざらでもないな、という印象をもった次第です。

ここで勉強した内容をこの広報に生かしているつもりですが、さて、この広報の出来映えはいかがでしょうか。

(文責 名取武一)

